

平成30年4月

交通企画課だより No. 4

3月末の交通死亡事故発生状況 ～資料を活用して事故をなくしましょう～



3月末全死者数	28人
高齢死者数	20人
高齢者の構成率	71.4%

交通部交通企画課

交通死亡事故発生状況について(平成30年3月末現在)

1 全国・中国地方の死者数

区 分	平成30年	平成29年	前年対比	
			増減数	増減率
全 国	845人	873人	△ 28人	△ 3.2%
計	64人	66人	△ 2人	△ 3.0%
中国地方				
広島	28人	16人	12人	75.0%
鳥取	6人	8人	△ 2人	△ 25.0%
島根	3人	7人	△ 4人	△ 57.1%
岡山	18人	21人	△ 3人	△ 14.3%
山口	9人	14人	△ 5人	△ 35.7%

注) △は減少を, 無印は増加を表す(以下同じ)。

【広島県の全国的位置づけ】

死者数28人～全国で死者数が多い順から11位

1位:埼玉 55人, 最少:山形, 島根 3人

増減数12人増～全国で減少数が多い順から47位

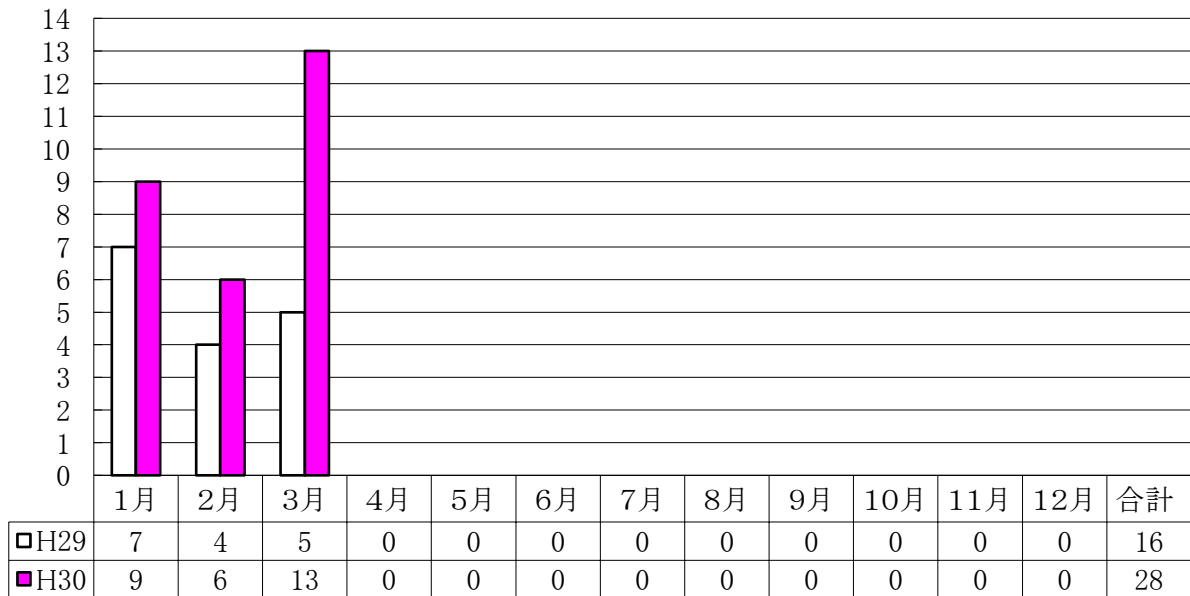
1位:静岡 18人減, ワースト:広島 12人増

増減率75.0%増～全国で減少率が高い順から44位

1位:山形 70.0%減, 秋田 250%増

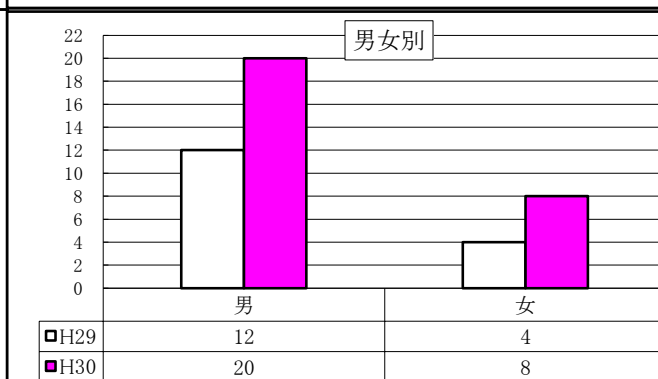
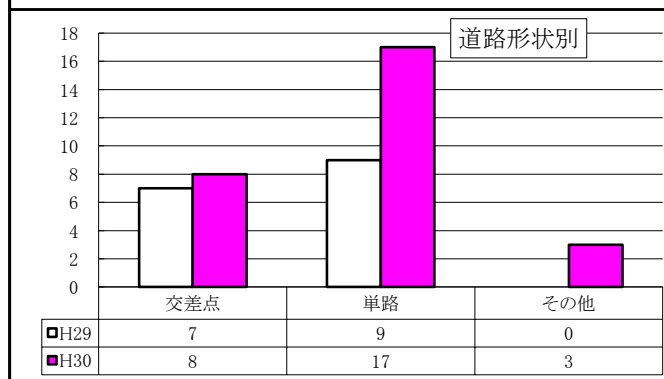
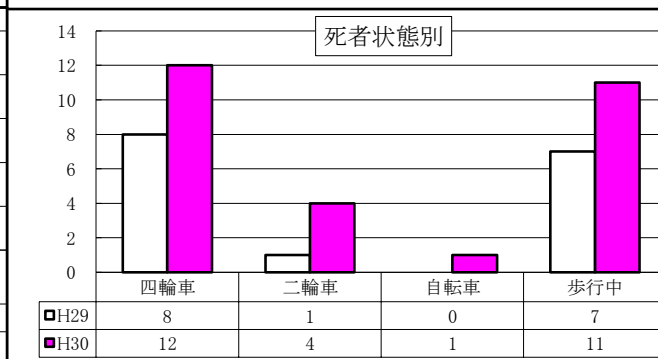
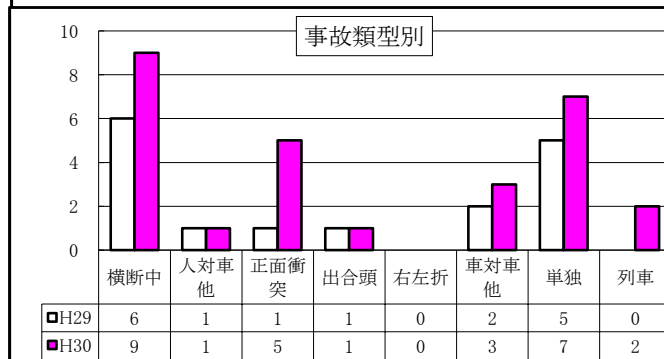
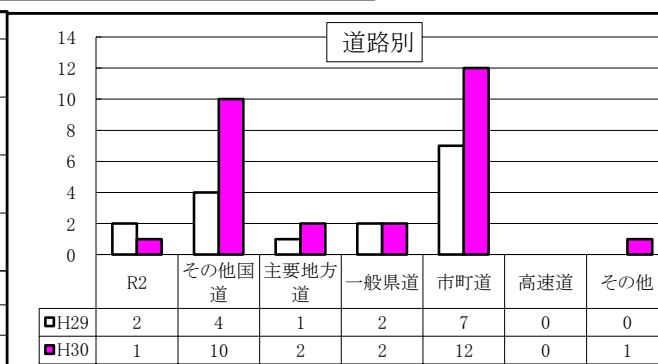
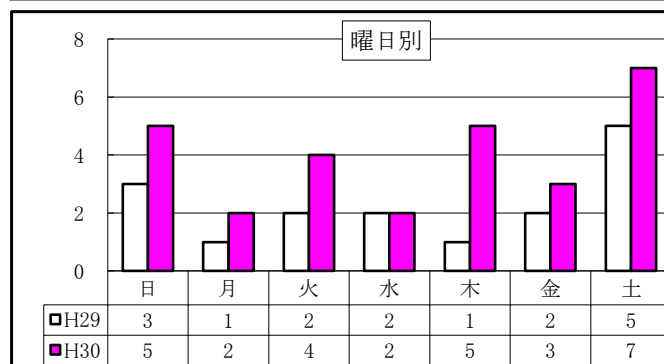
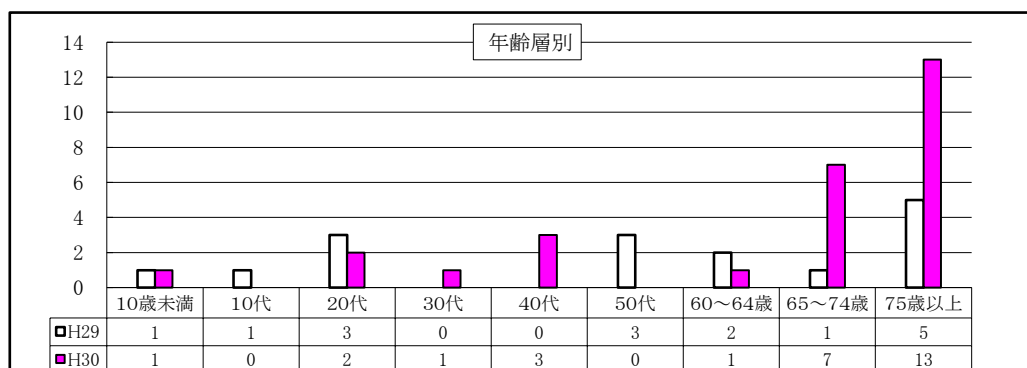
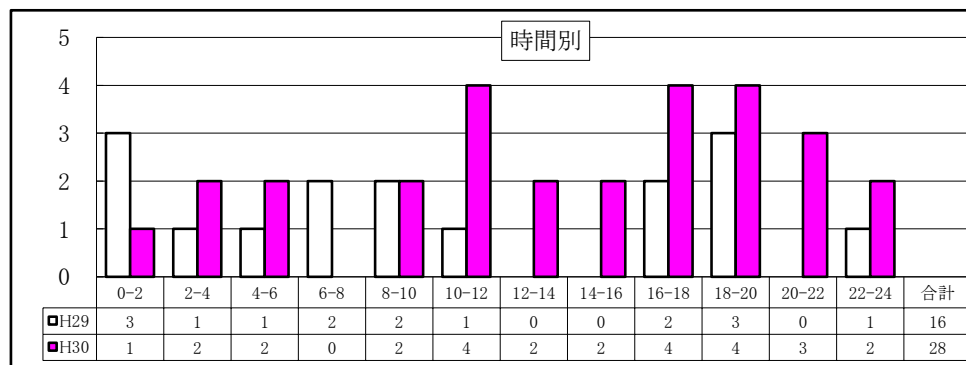
2 月別死者数の推移

※ 以下は広島県の状況



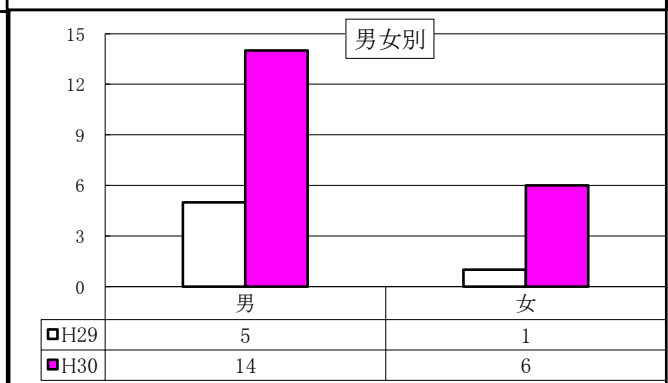
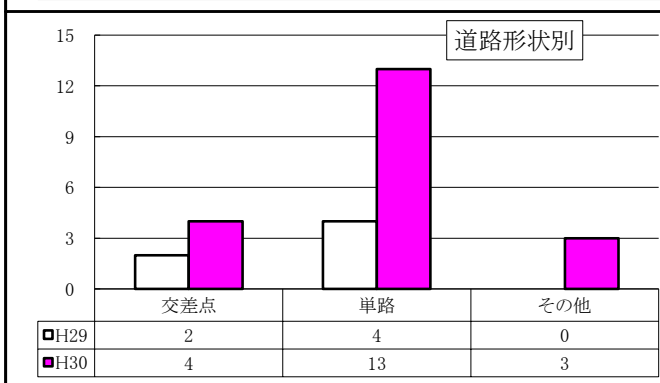
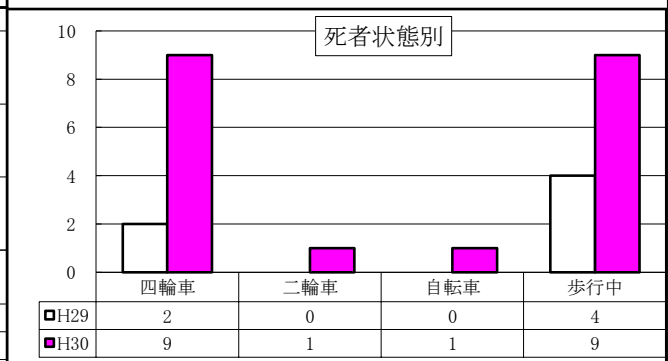
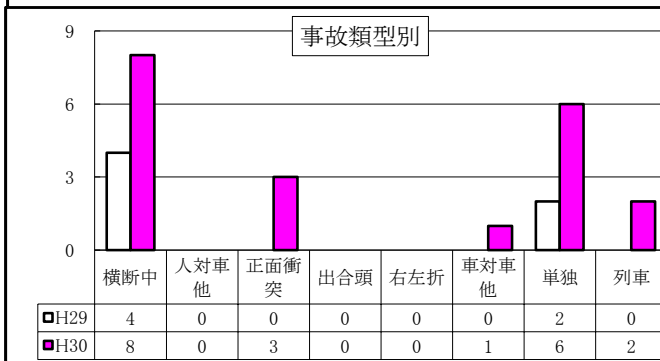
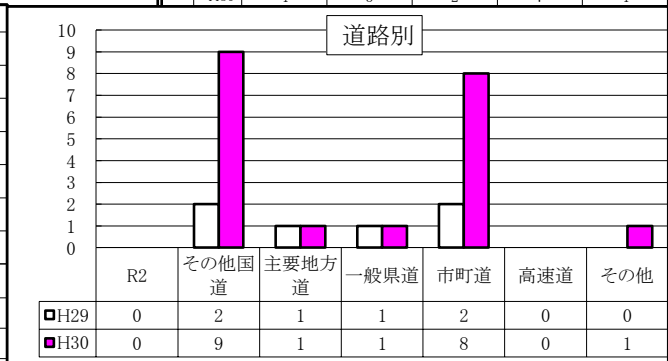
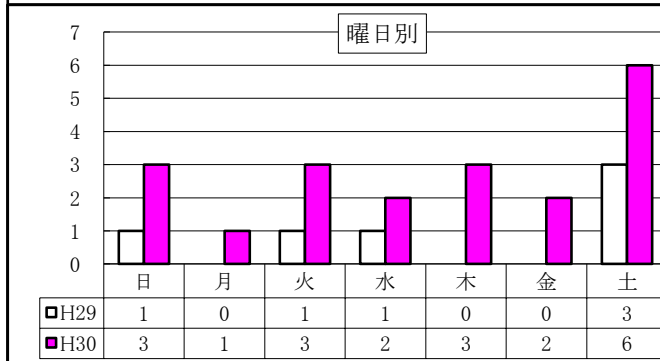
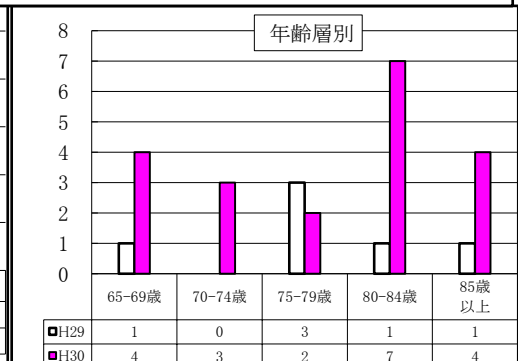
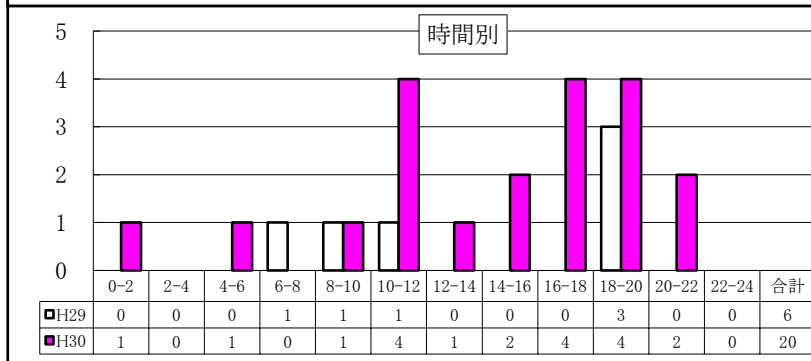
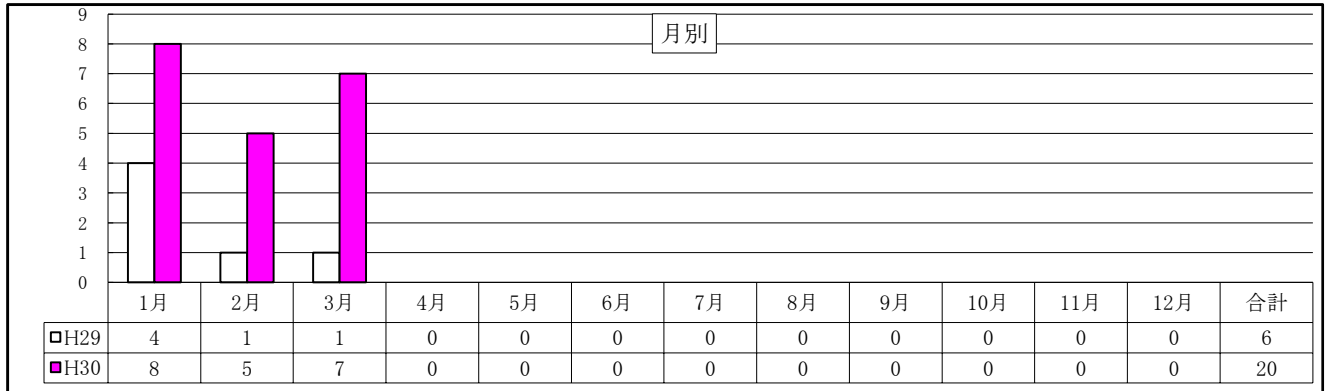
交通事故死者数

平成30年3月末現在



高齢者の交通事故死者数

平成30年3月末現在



(1) 3月末現在の交通死亡事故の特徴（昨年同期比）

- 昨年比で死者数が12人増加（交通事故件数は減少傾向）
- 時間帯別では、10～12時、20～22時で特に増加
- 年齢層別では、40歳代、高齢者の死者が特に増加
- 事故類型別では、「人対車（横断中）」「正面衝突」が特に増加
- 道路別では、「国道」「市町道」で特に増加

(2) 高齢者が関係する交通死亡事故の特徴（昨年同期比）

- 20人死亡で14人増加（構成率約7割）
- 80～84歳が大幅に増加
- 時間別では、10～12時、16～18時などで増加
- 道路別では、国道や市町道で増加



(3) ドライバーの皆さんに気をつけていただきたいこと

- ◎ 急ぎの用があっても安全を最優先し、速度を控えて運転しましょう。
- ◎ 脇見は大変危険です。
ハンドルを握ってる間はスマートフォンやカーナビの操作をせず、運転に集中しましょう。
- ◎ 夜間は、上向きライトを有効に活用して早めに危険を発見するように心がけましょう。



(4) 高齢者の皆さんに気をつけていただきたいこと

～歩いて出掛ける時～

- ◎ 年齢を重ねるにつれ、若い頃と比べると身体機能が変わります。こうした変化を自覚し、道路を横断する時は無理をせず、道路状況に応じた横断に努めてください。

～車を運転する時～

- ◎ 体調が悪いときは運転を控え、運転中に不調を感じたら無理せず休憩をとりましょう。

